



個人投資家のみなさまへ

会社説明会

2023年12月15日

ISB CORPORATION

Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流
- 3 当社の強み・事業の内容
- 4 中期経営計画・重点戦略
- 5 業績・配当予想

Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流
- 3 当社の強み・事業の内容
- 4 中期経営計画・重点戦略
- 5 業績・配当予想

社名	株式会社アイ・エス・ビー
設立	1970年（昭和45年）6月
代表取締役社長	若尾一史
資本金	23億7,892万円（2023年6月30日現在）
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：9702）
事業内容	情報サービス事業（ソフトウェア開発） セキュリティシステム事業（入退室管理）
従業員数（連結）	2,542名（2023年6月30日現在）
グループ会社	連結子会社：国内7社、海外1社

thought

社名の由来

アイ・エス・ビーとは

1970年社名を、インフォメーション・サービス・ビューローとして設立しました。
(Information **S**ervice **B**ureau)

そのアルファベットの頭文字をとって、
アイ・エス・ビーに変更しています。



安定した事業基盤で着実、かつ、戦略的なM&Aで成長



当社成長の原動力が、ISBグループ経営戦略
各事業領域にグループ会社8社が協業・分業



Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流**
- 3 当社の強み・事業の内容
- 4 中期経営計画・重点戦略
- 5 業績・配当予想

国内ソフトウェア市場2027年度には5兆7千億円市場へ拡大

①年平均**6.7%**成長年平均**6.7%**成長

単位：百万円

**System Infrastructure Software**

アプリケーション開発/デプロイメント市場
データドリブン経営推進のためのAI/アナリティクス市場
データ管理市場の成長

Applications

アプリケーション市場
デジタルCX向上に向けたCRM市場および
コンテンツワークフロー管理市場の成長

Application Development & Deployment

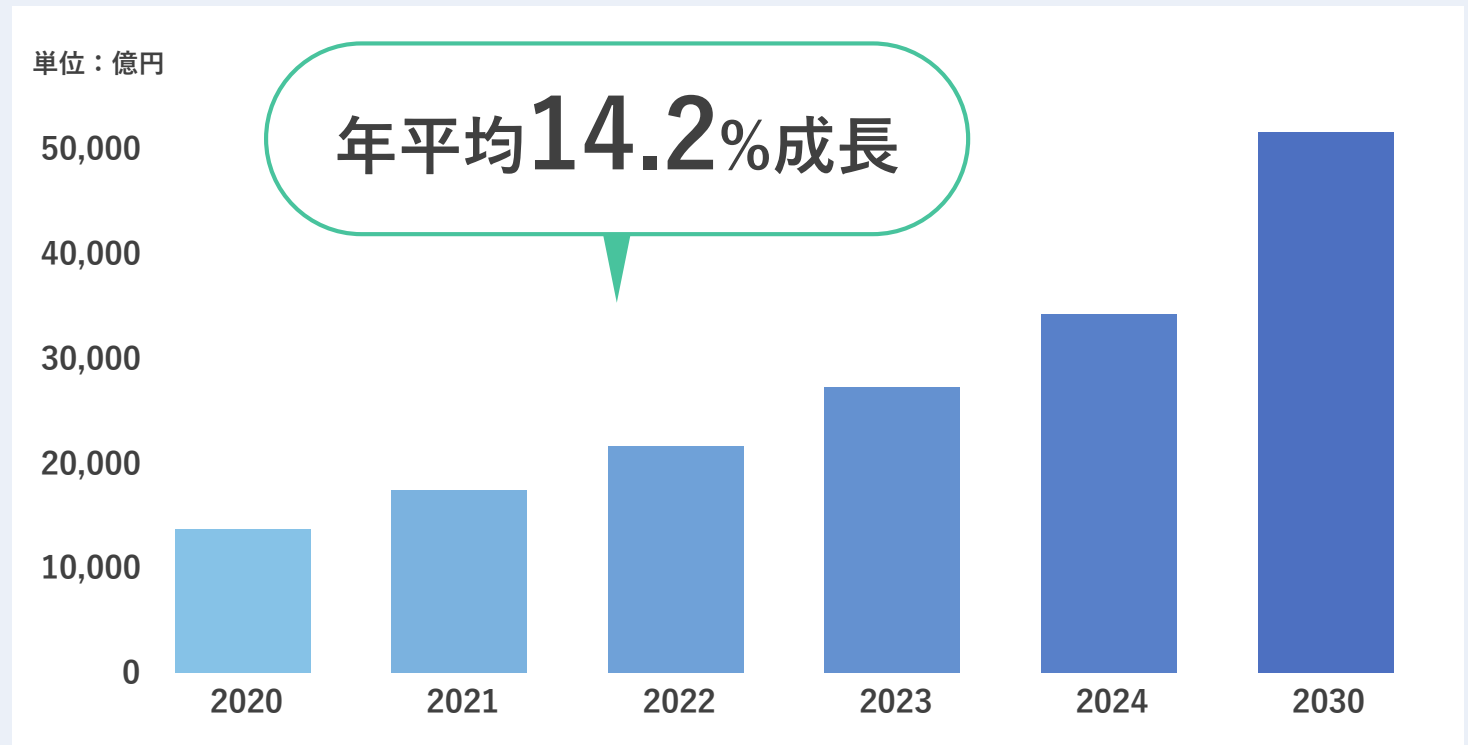
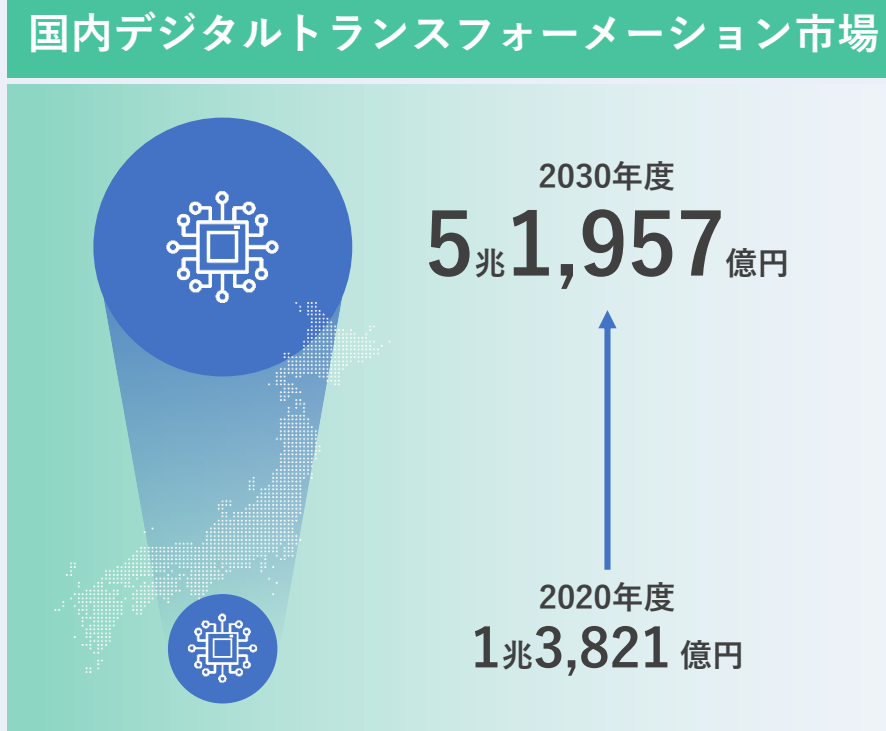
システムインフラストラクチャソフトウェア市場
サイバーセキュリティ対策/デジタルトラスト向上に
向けたセキュリティソフトウェア市場およびクラウド型
ITシステム管理市場の成長

国内ソフトウェア市場 予測、2023年～2027年（出典：IDC Japan）

出典元：<https://it.impress.co.jp/articles/-/24858>

国内DX市場 | 2030年度には5兆円市場へ拡大予想

②年平均14.2%成長

出典元：<https://it.impress.co.jp/articles/-/24858>

Slerとは

システムインテグレーションは、「システム開発や運用などを請け負う事業またはサービス」を指す言葉で、顧客（クライアント）の要望に応じて、ソフトウェアの設計や運用、コンサルティングに至るまで様々な仕事を請け負うことです。
この事業やサービスを請け負う企業のことを、「**Sler（エスアイヤー）**」と呼びます。

	読み方	意味
System Integration	システムインテグレーション	システム開発や運用などを請け負うサービス
SI	エスアイ	システムインテグレーションの略称
Sler	エスアイヤー	システム開発や運用などを請け負う企業（システムインテグレーターの略称）

メーカー系

PCメーカー



独立



大手コンピューターメーカーから
独立した企業

——— 主な事業内容 ———

親会社やグループ会社の
システム開発

ユーザー系

システム部門



独立



大手一般企業の情報システム部門
から独立した企業

——— 主な事業内容 ———

親会社または外部企業の
システム開発

独立系



特定の親会社を持たず
システム開発を専門に行う企業

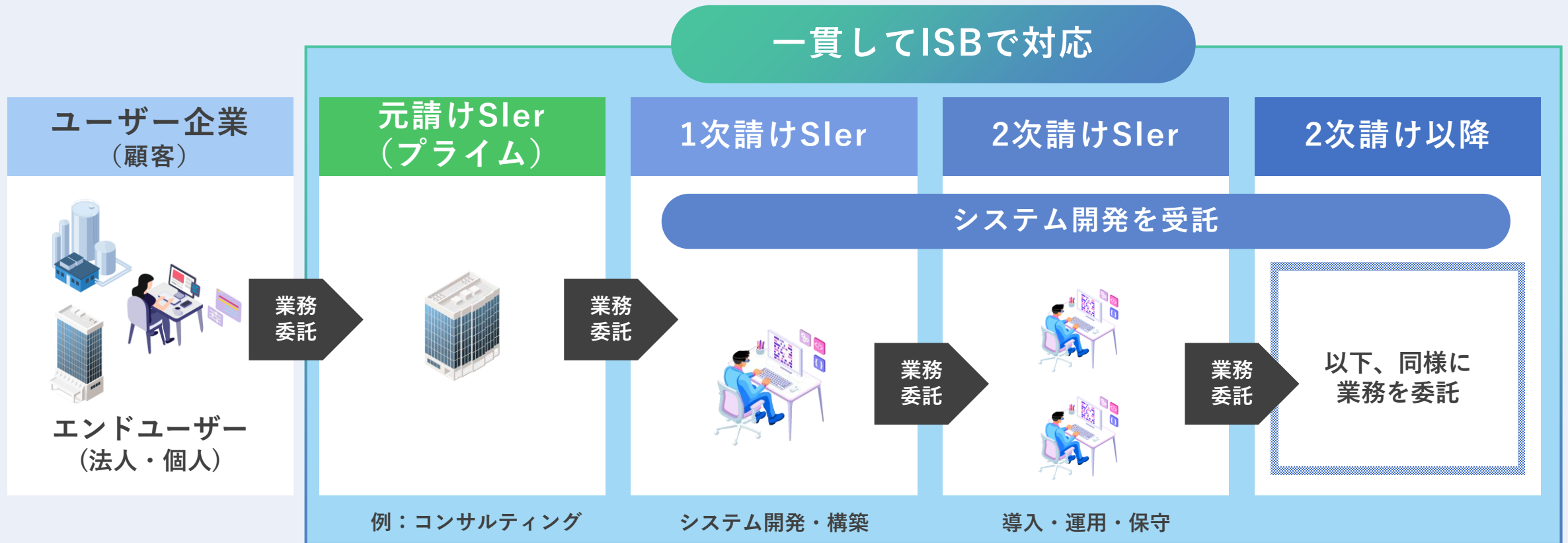
——— 主な事業内容 ———

外部企業のシステム開発

ISBは独立系のため、エンドユーザーに
合わせて捉われない提案を行います。

Sler企業の中にも、3つジャンルがあり、**当社は「独立系Sler」となります。**

特徴として、独自の方針で様々なエンドユーザーのニーズに合わせた
課題解決に取り組みやすいという特徴があります。

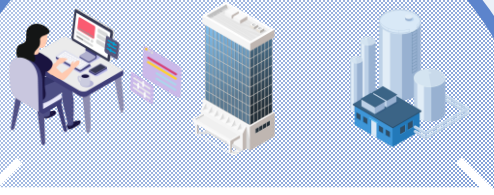


私たちが、**Sler企業**は、直接ユーザー企業から請け負うプライム案件から、ユーザー企業から請け負ったメーカー企業から請け負う1次請けSler、又は、2次請けSlerとして、お客様とともに課題を解決します。



Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流
- 3 当社の強み・事業の内容**
- 4 中期経営計画・重点戦略
- 5 業績・配当予想



① 幅広い事業領域



② ワンストップ
サービス



③ エンジニア集団



幅広い事業領域において、様々なお客様の課題を解決
ワンストップで、コンサルティングから導入後の保守まで提供
当社グループの2,000人を超えるエンジニア集団での体制

With
society

複雑化するICT社会に
新たな価値を創造するソリューションと製品を提供しています。

ISBで開発したソフトウェアは**幅広い事業領域**で、さまざまな製品に搭載され、安全・快適・便利な社会の見えないところで支えています。



ご提案から開発、運用保守まで
ワンストップサービスで提供

01

コンサルティング



02

アプリケーション
開発



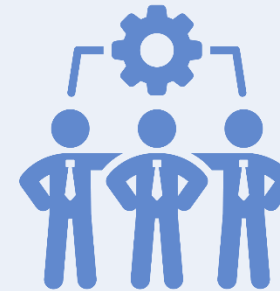
03

インフラ構築



04

導入支援



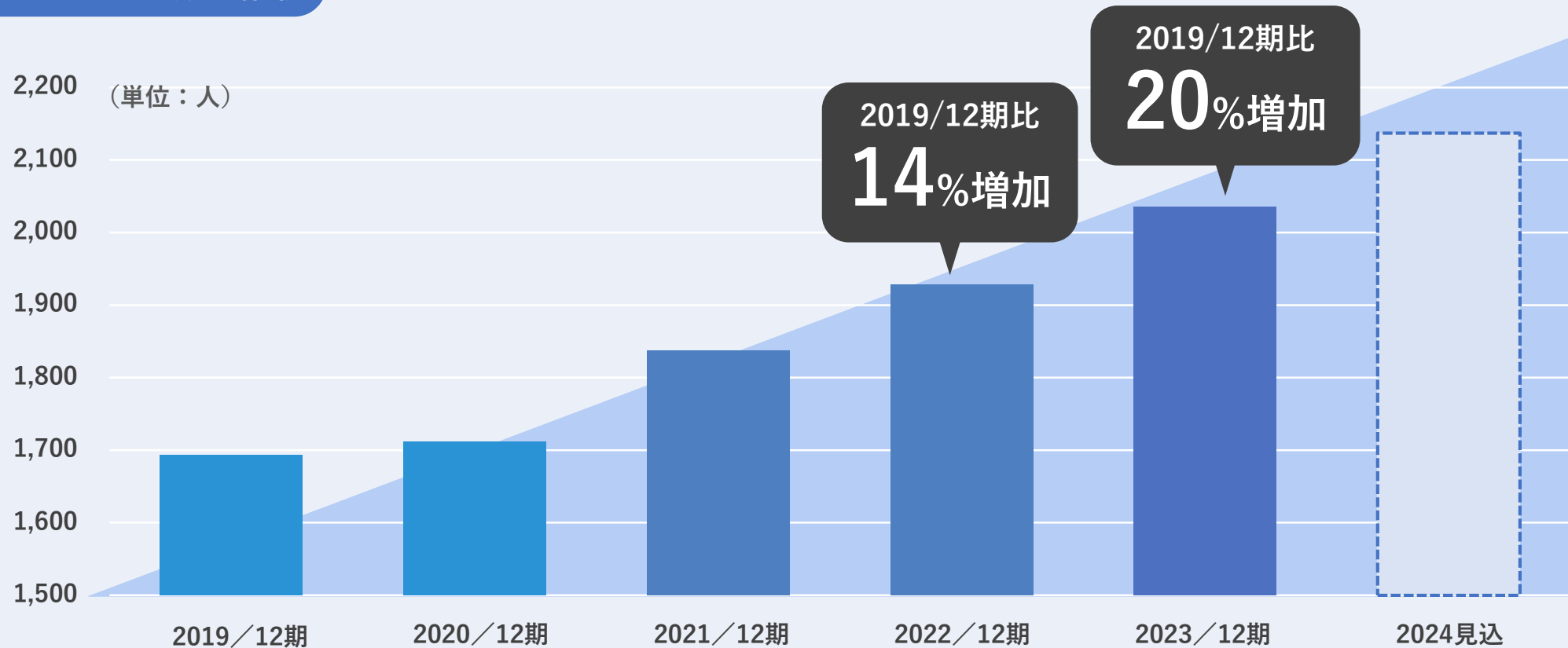
05

運用サポート

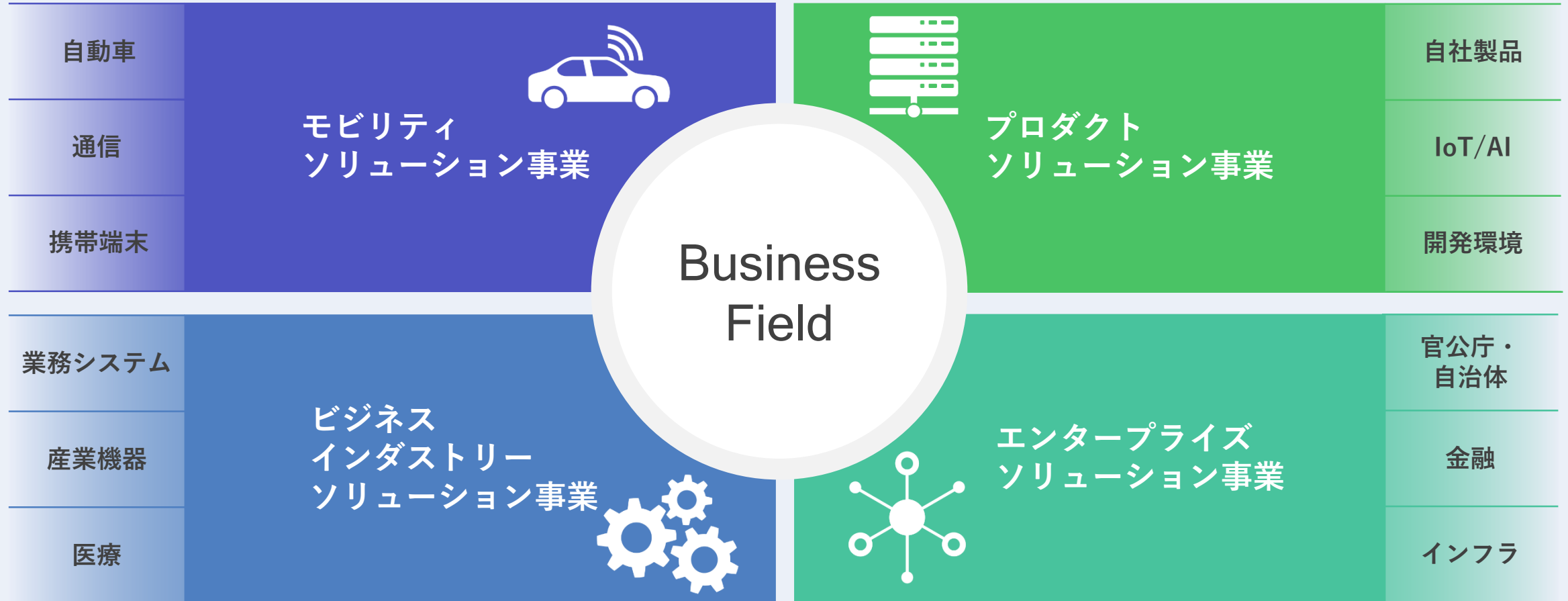


連結エンジニア数も業績の伸長と共に、着実に積み上げ漸増
 中期経営計画開始前の2019年度比は**20%増加**

連結エンジニア数の推移



ICT市場の環境変化に即応した、経営戦略を実行するための4つ事業分野





モビリティ
ソリューション事業

モビリティサービス、移動無線端末、基地局に関わるシステムや車載を主とする組込み系システムを開発。



開発例

ECU、メーター系の開発
モビリティサービス



開発例

Android搭載デバイス
スマートフォンの
アプリ開発



開発例

移動無線基地局の開発
5G関連



ビジネスインダストリー
ソリューション事業

民間企業向けのシステム、ならびに
産業用・医療機器などの組み系システムを開発。



開発例

DX需要に伴う基幹システムの刷新
工場向け工程・在庫管理システム



開発例

クラウド型診療支援システム
超音波、MRI診断装置システム



エンタープライズ
ソリューション事業

官庁・自治体、金融系企業向けのシステム開発、
およびインフラに関わるシステム開発・保守を担当。



公共システム

開発例

自治体向け業務システム
の構築及び更新



金融システム

開発例

株式売買システム
NISA対応システム再構築



フィールドサービス

開発例

サーバソフトウェア開発
クラウド環境への移行案件



プロダクト
ソリューション事業

市場ニーズを捉え、市場が求める
新たな製品の開発やサービスの提供を実施。



セキュリティ



開発例

クラウド型のモバイルデバイスの
管理システム



スマホで扉の施錠・開錠
入退室やアクセス権限管理



医療
システム



開発例

遠隔医療等
を実現する医用
画像システム



IoT/M2M



開発例

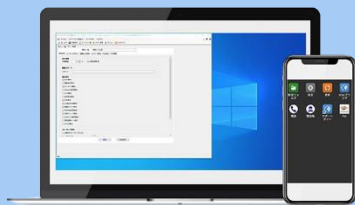
商業施設等
でIoTソリュー
ション



リカーリング製品の売上高

SDM、建設現場用カードリーダー、ALLIGATEの3製品により、
毎期30%超の伸び率で着実に増収

VECTANT SDM
セキュアデバイスマネジメント



モバイル端末管理

UP 認定 CCUS **EasyPass**



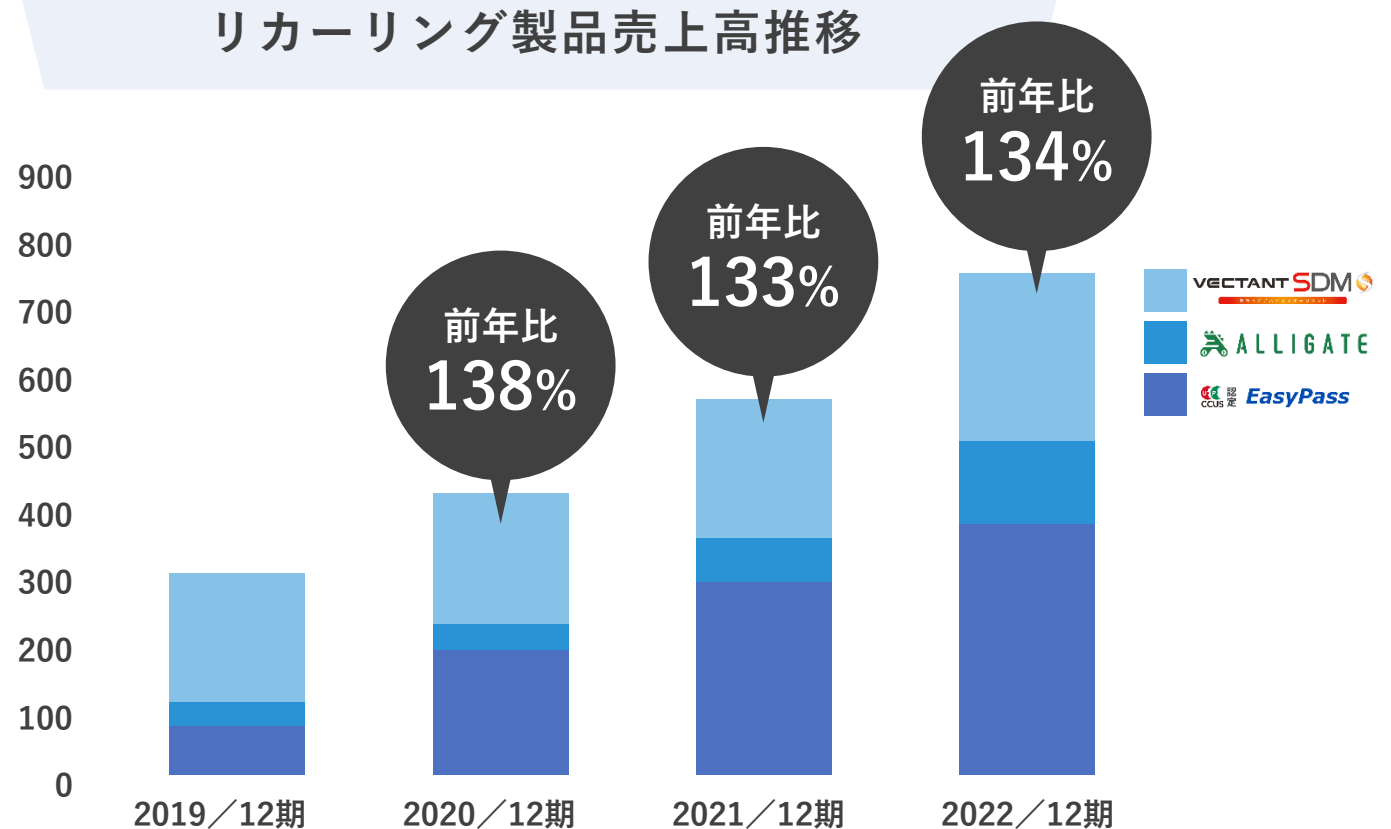
建設現場用
カードリーダー

ALLIGATE



入退室管理

リカーリング製品売上高推移



Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流
- 3 当社の強み・事業の内容
- 4 中期経営計画・重点戦略**
- 5 業績・配当予想

アイ・エス・ビーグループ企業理念

夢を持って夢に挑戦

Mission

私たちアイ・エス・ビーグループは卓越した技術と魅力ある製品・サービスで心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

Vision

時代の変化に適応し、知恵とITの融合により、未来を切り拓く新たな価値を創造します。

Value



誇り



誠実



挑戦

新しい一歩 ~ move up further ~

新生ISBグループ創出に向け、今までの50年の更なる進化と新たな領域への挑戦でより多くのお客様にソリューションを提供できる企業を目指す。

2023年度グループ目標

売上高
310
億円

当初計画
300
億円

営業利益
26
億円

当初計画
24
億円

営業利益率
8.4
%

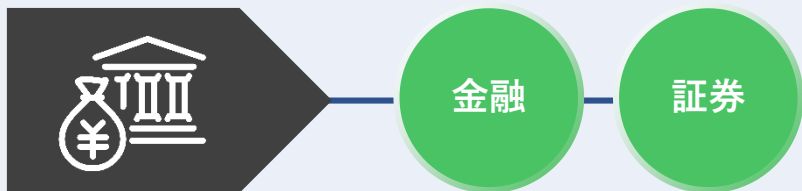
当初計画
8.0
%

重点戦略1



顧客開拓、 有望分野の拡大

提案営業強化のための体制構築により
有望分野の5G関連、車載、モビリティサービス、
医療、業務サービス等に注力

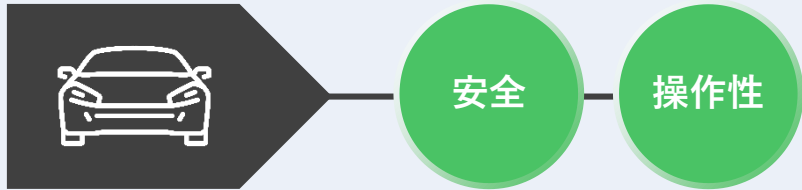


変化・成長する金融・証券分野でITソリューションを提供

DXが進む証券分野において、大和証券グループとの取引は30年を超え、ホストコンピュータ時代の基幹システムの構築から、クラウド対応による分散化が進む現在まで、株式や債券、投資信託、NISA等、さまざまな商品に対応するシステム構築を支援。

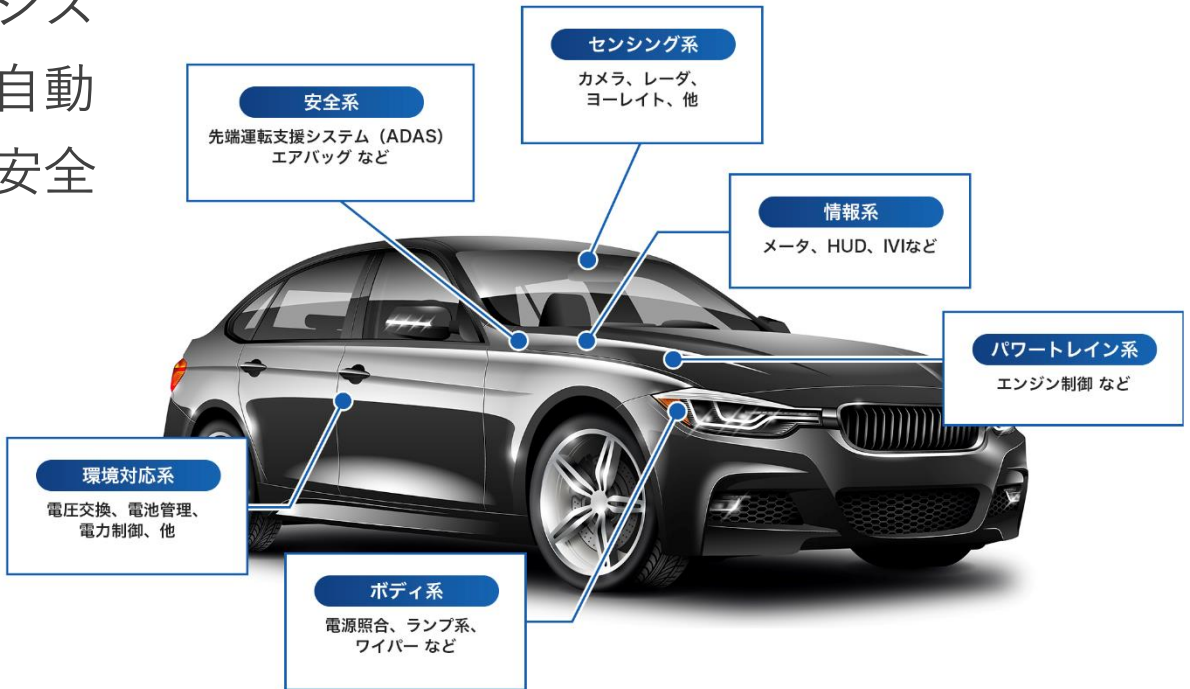
これらのシステムのアップデートに係るITソリューションを提供し、同社グループの持続的な成長に貢献し続けています。





車載システム開発、安全な運転環境を提供

安全なドライビングを目的とした運転技術システムの開発に貢献。世界的販売台数を誇る自動車に搭載されており、当社はモビリティの安全面においても貢献しています。





医療

オンライン
薬局

オンラインによる便利な薬剤の配送を実現

医療業界におけるDX推進においても、様々な理由で薬局へ行かなくても済むよう、スマートフォンを駆使した服薬指導から配送まで対応するシステムを開発。

人々の時間や手間を少なく、シームレスに薬の調達を実現するシステムにより、医療業界、調剤薬局業界へのDX推進に貢献しています。



重点戦略2



ソリューション 事業の創出

ソリューションパートナーとの連携及び、
共同開発から、高付加価値ソリューションの
提供により、プライム案件を獲得

POS
レジ

プライム

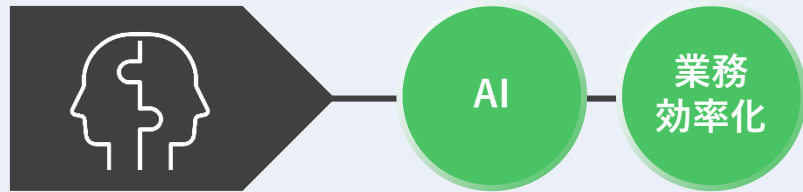
お客様と共に考えてDXの推進をサポート

キンコーズ・ジャパン様について、業務内容のヒアリングから、きめ細かくニーズを吸い上げ提案。

パートナー企業と共同で、接客業務支援機能を搭載したPOSシステムを開発。

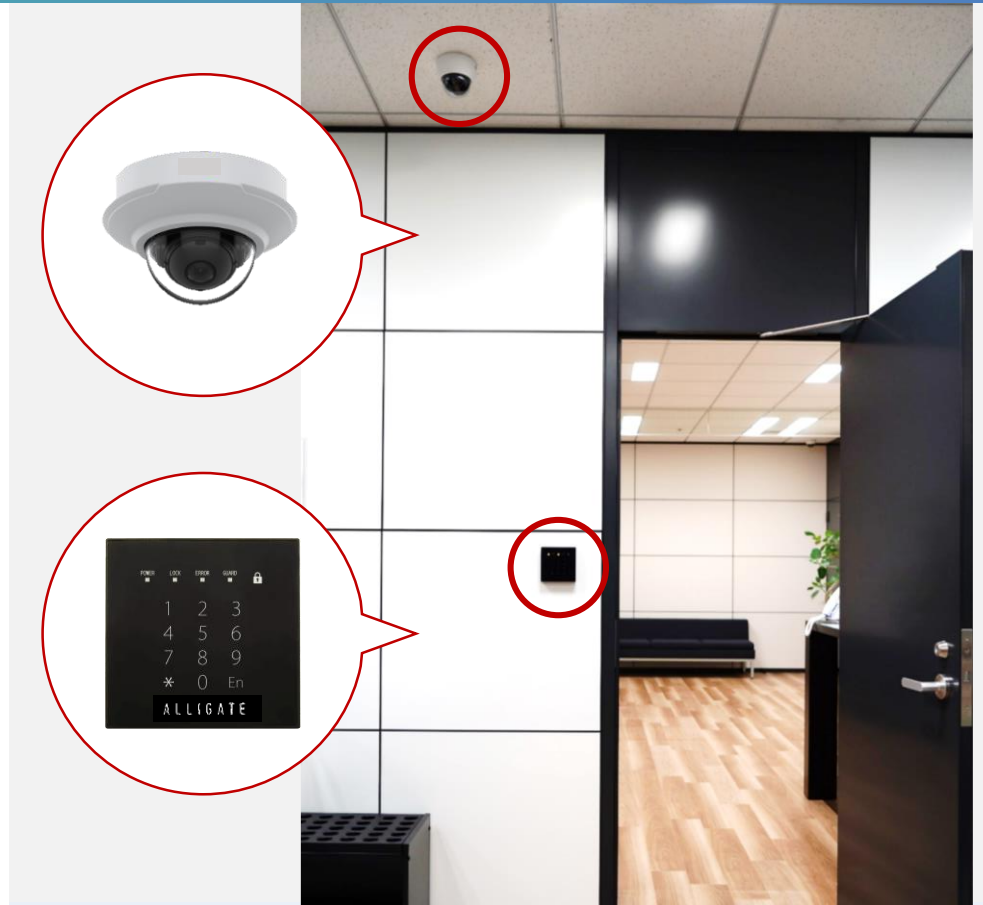
複雑化する POS 業務の生産性向上や他のシステムへの連携とともに、来店されるお客様へのサービス向上へ貢献しています。





AI顔認証によるクラウド型入退出管理でセキュリティ向上と業務効率化

- スピード認証によりウォークスルーでスムーズな入退出を実現
- カード紛失、不携帯へのサポート業務の軽減
- なりすまし防止等セキュリティ面の向上の実現
- 入退出ログのクラウド管理を通じてマネジメント効率を向上



重点戦略3

(2023年11月末現在)



グループ経営強化

首都圏の受注案件に対し、国内外のグループ会社と連携し、各社の地域拠点においてリモート開発で協業
人的資本も採用や社員育成をグループで強化



a g e n d a

Financial
Results
briefing

- 1 ISBについて
- 2 IT市場の動向・当社の商流
- 3 当社の強み・事業の内容
- 4 中期経営計画・重点戦略
- 5 業績・配当予想**

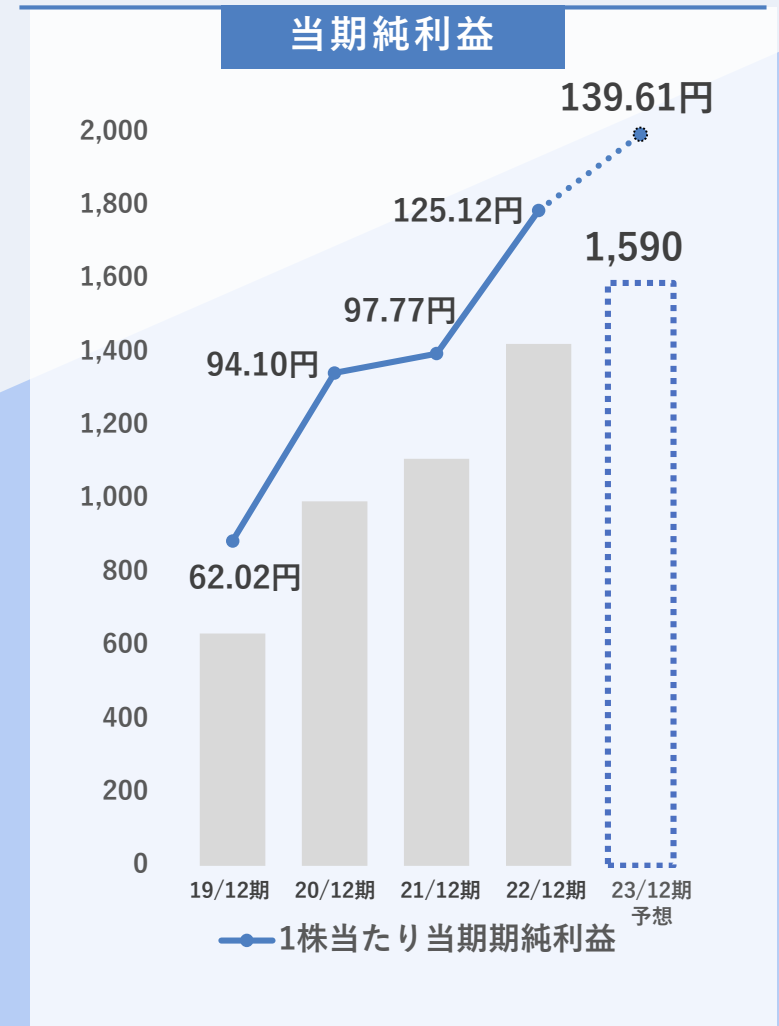
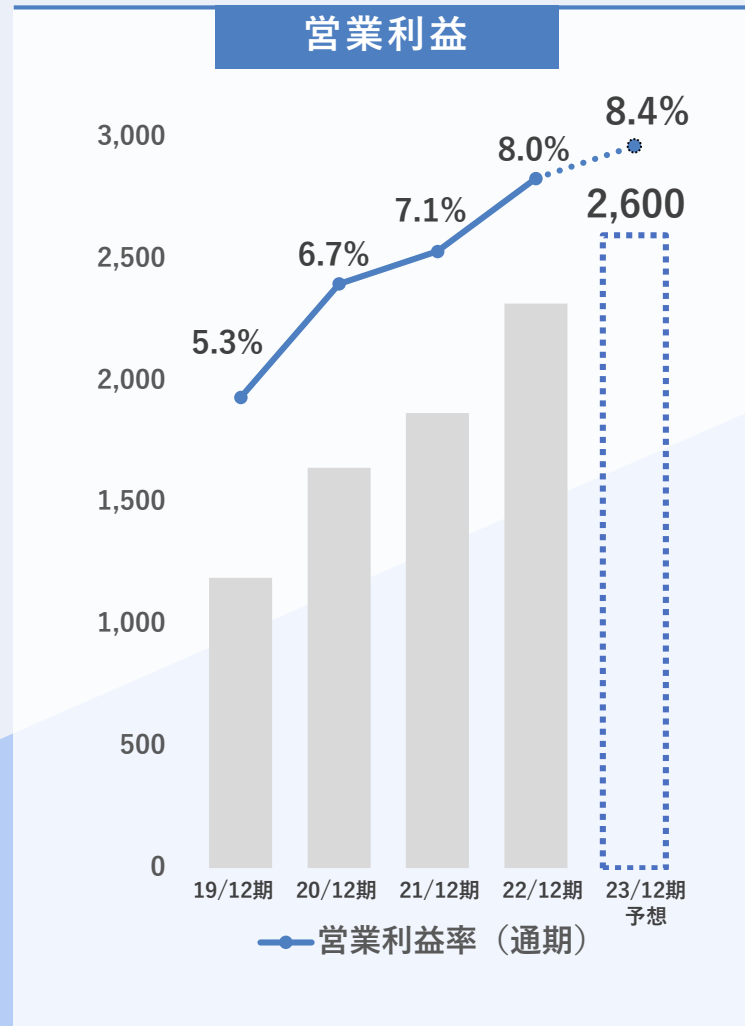
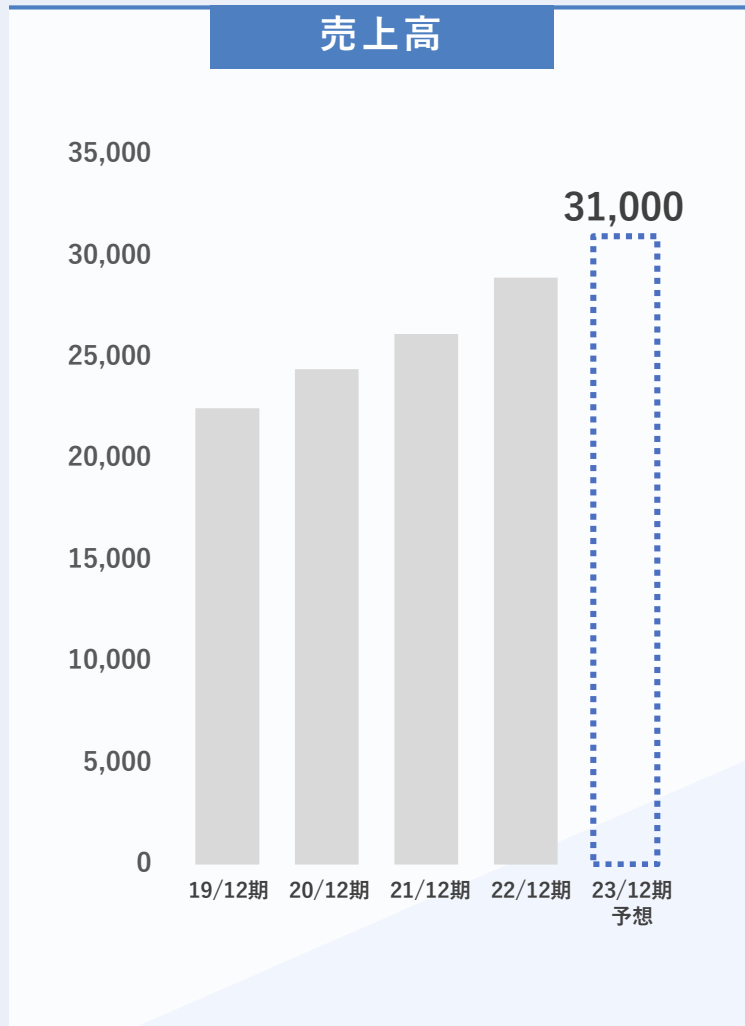
過去最高売上高・営業利益を更新計画

(単位：百万円)

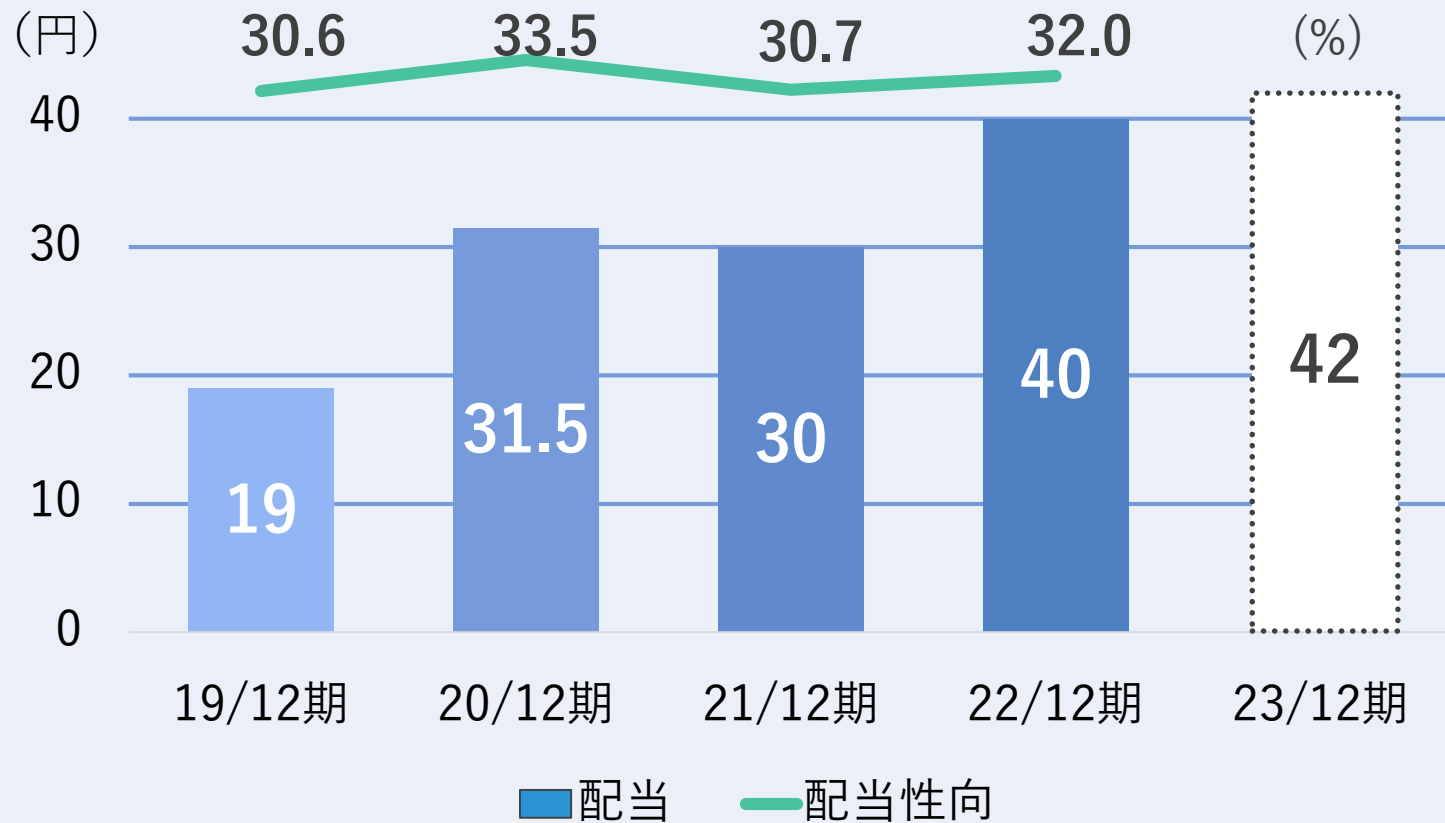
	2022年 3Q実績	2023年 3Q実績	増減	前期比	2023年 通期予想	対通期 3Q進捗率
売上高	21,426	24,073	2,647	112%	31,000	78%
営業利益	1,722	2,093	371	122%	2,600	81%
営業利益率	8.0%	8.7%	0.7pt	-	8.4%	-
経常利益	1,762	2,143	381	122%	2,645	81%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,049	1,241	192	118%	1,590	78%
1株当たり当期純利益 (単位：円)	92.28	108.90	16.62	118%	139.61	78%

前年比増収増益により最高業績を更新

(単位：百万円)



配当・配当性向予想



	2021年 実績	2022年 実績	2023年 予想
配当	30円	40円	42円
配当性向	30.7 %	32.0 %	-

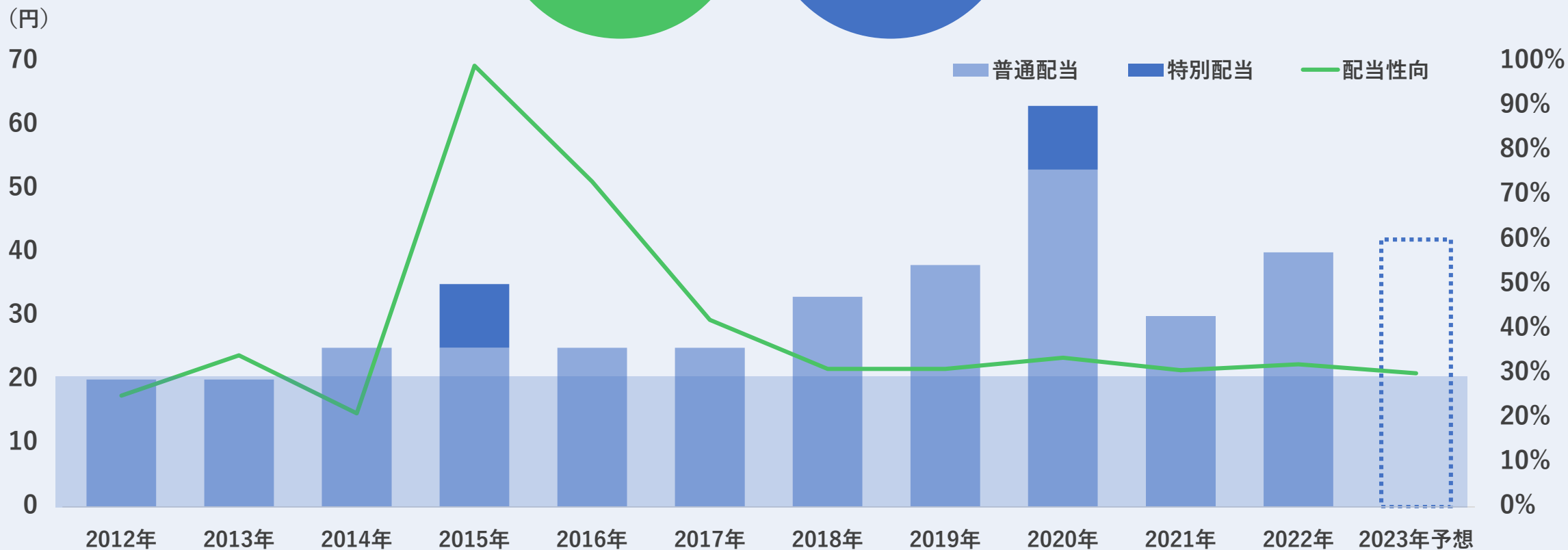
※2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

配当性向

30%

42円

2023年12月期配当金（予想）



※ 2021年1月1日付で、普通株式1株当たり2株に株式分割

DX

デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わることを意味します。事業の観点で説明すると、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することをいいます。

プライム案件

クライアントと直接契約した案件のことを指します。システム開発やITインフラ構築、サーバー保守などを含めて、受注する案件は、大きな規模になることが多いので、プライム案件を取ることができれば大きな収益を得られます。

インフラシステム

インフラシステムとは、ITを利用するのに必須となるシステムで各企業の要件に合わせて必要なものを選定し、構築していきます。

具体的にはコンピュータなどの装置や機器、その中で稼働する基盤的なソフトウェアやデータ、機器を結ぶ通信回線やネットワークなどの総体を指します。

組み込み システム・ 開発

特定の利用手段に特化し、限定した機能の遂行を目的とした開発のこと。

また、組み込み開発によって作られた機器が組み込み機器です。自動販売機、自動券売機、自動改札機、自動車、飛行機等、エレベータ、医療機器(レントゲン、MR等)、測定機器といった様々な機器に使用されております。

車載システム

移動の安全性確保、交通渋滞の緩和、環境汚染の減少、人々の移動を、安全に保つことを目的とし、現在の自動車には数多くのコンピュータが搭載されています。

コンピュータといっても、ご家庭で利用されているようなパーソナルコンピュータではなく、小型なCPUを中心に各種入出力デバイスなどを備えた組み込み型コンピュータです。



本資料に記載された業績の意見や将来予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではありません。

実際の業績は、記載されている将来予測とは、大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。
